



株主のみなさまへ 第150期 報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

エンシュウ株式会社

証券コード 6218

Corporate Philosophy 経営理念

売ってよろこび、
買ってよろこび、
作ってよろこび、
一生懸命につとめ
共生共栄を旨とする



本社及び高塚工場



浜北工場

Contents 目次

株主のみなさまへ	2
事業の概況	3
エンシュウのグローバルネットワーク トピックス	5 6
連結事業別売上及び受注の状況	8
業績の推移	8
連結財務諸表	9
個別財務諸表	11
株式の状況	13
会社の概況	14

Top Message

株主のみなさまへ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当連結会計年度における我が国経済は、企業収益や雇用、所得環境の改善により景気は緩やかな回復基調にて推移致しました。一方、世界経済は、新興国に加え米国や欧州の景気も緩やかに回復しておりますが、先行きについては米国経済政策の動向や地政学的リスクの高まりなど、不確実性が懸念されております。

このような情勢の中、当社グループは受注確保に向け中国、北米、国内への拡販を図るとともに、生産効率化や原価低減などの推進に取り組んでまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、工作機械関連事業部門の増加により23,479百万円(前期比12.6%増)となりました。損益につきましては、工作機械関連事業部門の利益改善により、営業利益は928百万円(前期は営業損失404百万円)、経常利益は674百万円(前期は経常損失726百万円)となりました。純利益は597百万円(前期は純損失791百万円)となりました。

当社は、平成29年5月12日に「長期ビジョン、新中期経営計画」を発表しております。「お客様の期待に応え選ばれるブランドになる」を経営ビジョンとし、平成31年度売上高290億円、営業利益率5%を目標としております。中期経営計画の達成に向け、2年目となる平成30年度は、更なる基盤構築強化に向けて全社一丸となって取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお、配当につきましては、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、財務状態が十分でなく無配とさせていただきたく存じます。

平成30年6月



代表取締役社長 社長執行役員

山下晴央

事業の概況

平成29年4月1日から平成30年3月31日に至る当社グループ第150期連結会計年度の事業の概況をご報告申し上げます。

工作機械・レーザー関連事業部門

日本工作機械工業会の2017年度の受注総額は1兆7,803億円(前期比38.1%増)となり過去最高額を更新しました。内需は6,879億円(前期比29.4%増)、外需は1兆923億円(前期比44.2%増)となりました。

当社におきましても、受注確保のために国内外において積極的な営業活動を行った結果、当連結会計年度の受注総額は23,618百万円(前期比103.6%増)と高い数字を達成することができました。収益面では、一昨年より取り組んでいる受注戦略、コスト削減施策、高付加価値技術での差別化等の効果と、海外現地法人の増収により、工作機械関連事業部門の売上高は13,671百万円(前期比31.0%増)、営業利益378百万円(前期は営業損失850百万円)となりました。

当事業部門におきましては、市場が活況にある中、システム、汎用機、レーザーいずれの受注も増加しており、受注残高は高水準を維持しております。

利益体質の基盤構築に向けて、施策をより迅速に深く推し進めるとともに、多彩な技術力、商品力、提案力の強化を図り利益の確保に努めてまいります。

また、当社の主要顧客である自動車業界ではEV化、自動運転などの動きにより変革期を迎えております。当社におきましては、将来に向けた準備を行いつつ、市場拡大に向けてチャレンジをしております。



▲プライベートショー 本社ショールーム



▲プライベートショー 浜北工場

輸送機器関連事業部門

輸送機器関連事業部門におきましては、主力製品である大型二輪車用部品の生産が減少する中、営業力を強化し新規四輪部品や試作等の取り込みを積極的に行ってまいりましたが、全体としては減収となりました。

損益面におきましては、ベトナム現地法人の利益に加え、固定費削減や技術改善、刃具油剤改善等の生産性向上活動の施策を継続的に推進した効果により、増益となりました。

以上の結果、輸送機器関連事業部門の売上高は9,737百万円(前期比5.8%減)、営業利益は498百万円(前期比26.4%増)となりました。

今後におきましては、主力製品であります大型二輪車用及び自動車関連の仕事量が減少し、環境はさらに厳しさを増しておりますが、引き続き、新規顧客の開拓と新規部品を積極的に取り込みながら、生産性向上と品質向上、原価低減等の各種施策活動をさらにステップアップさせて、体質強化と売上確保、利益創出を図ってまいります。

また、ベトナム工場におきましては、新たに原則(品質強化)活動を取り入れ、クレームゼロ、納期遅延ゼロを達成することができ、ヤマハ発動機株式会社から品質評価で最高ランクをいただいております。継続して品質確保と生産性向上活動に取り組み、最適生産体制を発展させ、引き続きお客様にご満足いただける品質、価格、納期の提供ができるように努めてまいります。



▲ ENSHU VIETNAM工場



▲ 海外サプライヤーとしては初となる、原則トレーナー(品質強化活動指導者)を取得

Global Network

ENSHU のグローバルネットワーク

工作機械の事業は、海外での製造・販売・サービス網を整備し、拡販しております。

ENSHU GmbH



ENSHU (QINGDAO) LIMITED
ENSHU (QINGDAO) MACHINERY CO.,LTD.

ENSHU(USA) CORPORATION



ENSHU Limited (Head Office)



ENSHU(QINGDAO)Limited
Suzhou branch Office



ENSHU Limited (Hamakita Factories)



ENSHU INDIA PVT Ltd.



ENSHU(Thailand) Limited
BANGKOK ENSHU MACHINERY Co.,Ltd.



PT. ENSHU INDONESIA



ENSHU VIETNAM Co.,Ltd.



ENSHU USA CORPORATION
MEXICO R.O.W.I

工作機械・レーザー事業部

■ トヨタ自動車株式会社より「技術開発賞」を受賞

トヨタ自動車株式会社と共同開発したレーザークラッドバルブシート加工の量産設備において、平成29年度技術開発賞を受賞いたしました。これは、トヨタ製品の商品力向上に大きな成果を上げた仕入先に贈られるものであり、当社の商品と培ってきた技術力を高く評価いただけたものと考えております。



▲レーザークラッド加工機



▲NEW
ピストンオーバル(楕円)加工機

■ エンシュウプライベートショー2017を開催

2017年12月7日から8日の2日間、本社および浜北工場にて「エンシュウプライベートショー2017」を開催し、前回(2015年)を大幅に上回るお客様にお越しいただきました。“GE40H 2APC” “ピストン加工機” “レーザークラッド” 他、現在当社の持つ多彩な商品と技術力を十分にアピールすることができたと考えております。国内のお客様からの引き合いは着実に増加しており、その効果が受注、受注残高といった数字にも表れはじめております。

■ METALEX2017に出展

2017年11月22日から25日の4日間、バンコク国際展示場で開催された「METALEX2017」に出展いたしました。50カ国を超える地域からの出展があり、来場者数も91,034人と出展社数、来場者数ともに過去最大規模での開催となりました。



▲国際ウェルディングショー2018

■ 国際ウェルディングショー2018に出展

2018年4月25日から28日の4日間、東京ビックサイトで開催された「国際ウェルディングショー2018」に出展いたしました。当社はLBM10にDDLレーザーを搭載し、フィーダーでの粉体肉盛りの実演加工を展示いたしました。近年はレーザー分野においても順調に受注を伸ばすことができ、今後も技術力を高め、お客様に喜ばれる商品を提供できるよう、日々努めてまいります。

輸送機器事業部

輸送機器事業部は、当社製マシニングセンタを柔軟に組み合わせて、お客様に満足していただけるライン作りを行っております。

現在、工作機械・レーザー事業部と連携して当社製マシニングセンタを活用しIoTを導入した自動車用デフケース新ラインの立上げを実施しております。二輪、船舶、四輪関係と幅広く新規部品の取込みを積極的に行っておりながら、品質向上、原価低減活動の成果を着実に積み重ねて、仕事量確保と利益創出に努めてまいります。

また、ベトナム工場におきましては、ヤマハ発動機株式会社から品質評価で最高ランクの評価をいただきました。これは新しく進めてまいりました品質活動の結果であります。今後も品質活動を推進し、継続して品質確保と生産性向上に取り組んでまいります。

これからも継続してベトナム工場を活用した最適生産体制を構築し、国内工場の生産再構築も進めてまいります。そして日本とベトナムの連携を強化し、今後さらにお客様にご満足いただける品質、価格、納期の提供ができるように努力してまいります。



▲当社製マシニングセンタを活用した自動車用デフケース新ライン

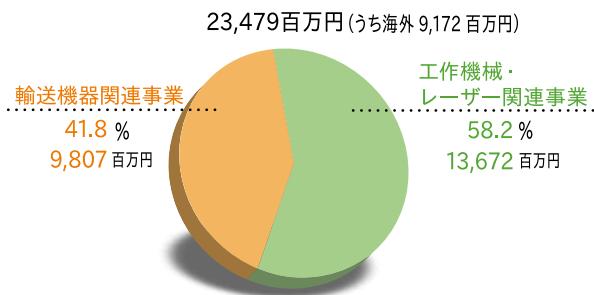


▲IoT取組み
工作機械・レーザー事業部と開発を進めているデータ収集技術を活用した出来高管理板を生産職場で検証

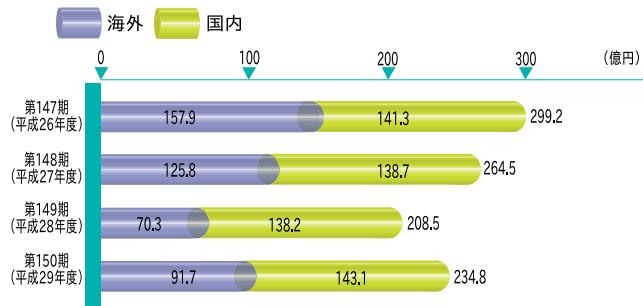
Report 連結事業別売上及び受注の状況

第147期～第150期 業績の推移

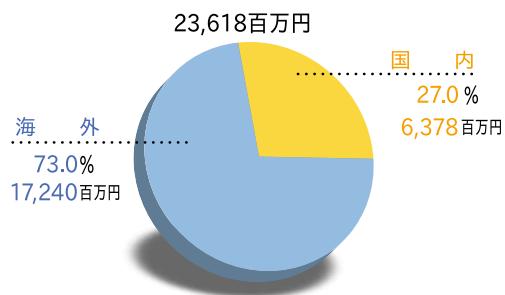
事業別売上高 (平成29年度)



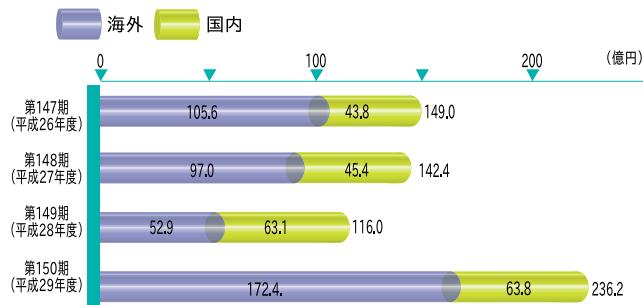
売上高



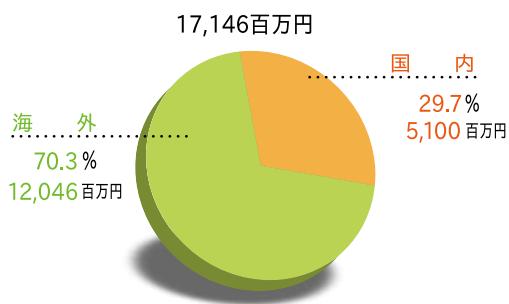
工作機械・レーザー関連事業の受注高 (平成29年度)



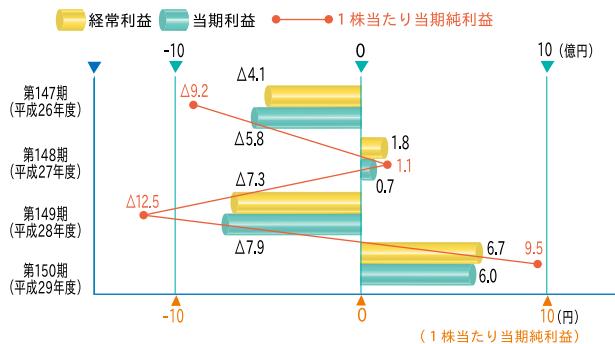
工作機械・レーザー関連事業の受注高



工作機械・レーザー関連事業の受注残高 (平成30年3月)



利益



Consolidated Financial Statements 連結財務諸表

連結貸借対照表 (平成30年3月31日現在)

(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

項 目	金 額	項 目	金 額
●資産の部●		●負債の部●	
流 動 資 産	17,353	流 動 負 債	13,333
現金及び預金	2,098	支払手形及び買掛金	2,774
受取手形及び売掛金	4,329	電子記録債務	1,767
電子記録債権	1,690	短期借入金	6,754
商品及び製品	2,266	リース債務	45
仕掛品	4,243	未払法人税等	74
原材料及び貯蔵品	1,426	賞与引当金	307
繰延税金資産	71	資産除去債務	74
その他	1,273	その他	1,535
貸倒引当金	△46	固 定 負 債	10,929
固 定 資 産	14,022	長期借入金	5,514
有形固定資産	13,631	リース債務	30
建物及び構築物	2,742	再評価に係る繰延税金負債	1,563
機械装置及び運搬具	3,130	役員退職慰労引当金	15
土地	7,387	退職給付に係る負債	3,676
リース資産	16	資産除去債務	90
建設仮勘定	148	その他	38
その他	205	負 債 合 計	24,263
無形固定資産	84	●純資産の部●	
のれん	6	株 主 資 本	4,021
リース資産	52	資本金	4,640
その他	25	資本剰余金	1,230
投資その他の資産	306	利益剰余金	△1,781
投資有価証券	21	自己株式	△67
その他	287	その他の包括利益累計額	3,091
貸倒引当金	△2	その他有価証券評価差額金	2
資 産 合 計	31,376	土地再評価差額金	3,666
		為替換算調整勘定	435
		退職給付に係る調整累計額	△1,012
		純 資 産 合 計	7,113
		負債及び純資産合計	31,376

連結損益計算書(要旨) 自平成29年4月1日 至平成30年3月31日

(単位:百万円 百万円未満は切捨て)

項 目	金 額
売 上 高	23,479
売 上 原 価	20,022
売 上 総 利 益	3,457
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,528
営 業 利 益	928
営 業 外 収 益	88
営 業 外 費 用	342
経 常 利 益	674
特 別 利 益	1
特 別 損 失	7
税金等調整前当期純利益	667
法人税、住民税及び事業税	51
法人税等調整額	18
親会社株主に帰属する当期純利益	597

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

自平成29年4月1日
至平成30年3月31日

(単位:百万円 百万円未満は切捨て)

項 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	236
投資活動によるキャッシュ・フロー	△605
財務活動によるキャッシュ・フロー	△287
現金及び現金同等物に係る換算差額	58
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△597
現金及び現金同等物の期首残高	2,602
現金及び現金同等物の期末残高	2,004

連結株主資本等変動計算書 自平成29年4月1日 至平成30年3月31日

(単位:百万円 百万円未満は切捨て)

残高及び変動事由	株 主 資 本				
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計
平成29年4月1日残高	4,640	1,230	△2,379	△66	3,424
連結会計年度中の変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益			597		597
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目 の連結会計年度中の 変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	—	597	△0	596
平成30年3月31日残高	4,640	1,230	△1,781	△67	4,021

残高及び変動事由	その他の包括利益累計額					純資産 合計
	そ の 他 有 価 証券 評価差額金	土 地 再 評 価 差 額 金	為 替 換 算 調 整 勘 定	退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額	そ の 他 の 利 益 累 計 額 合 計	
平成29年4月1日残高	2	3,666	375	△1,171	2,872	6,297
連結会計年度中の変動額						
親会社株主に帰属する 当期純利益						597
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目 の連結会計年度中の 変動額(純額)	0		60	158	218	218
連結会計年度中の変動額合計	0	—	60	158	218	815
平成30年3月31日残高	2	3,666	435	△1,012	3,091	7,113



個別貸借対照表 (平成30年3月31日現在)

(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

項 目	金 額	項 目	金 額
●資産の部●		●負債の部●	
流 動 資 産	14,657	流 動 負 債	12,625
現金及び預金	727	支払手形	470
受取手形	74	買掛金	2,085
売掛金	4,873	電子記録債務	1,767
電子記録債権	1,690	短期借入金	6,754
商品及び製品	489	リース債務	43
仕掛品	4,173	未払金	718
原材料及び貯蔵品	931	未払費用	90
関係会社短期貸付金	568	未払法人税等	60
未収入金	12	未払消費税等	11
前払金	9	前受金	11
前払費用	25	預り金	121
未収消費税等	136	賞与引当金	307
その他	966	営業外電子記録債務	101
貸倒引当金	△21	資産除去債務	74
固 定 資 産	15,049	その他	8
有 形 固 定 資 産	11,894	固 定 負 債	9,910
建物	1,924	長期借入金	5,514
構築物	169	リース債務	29
機械及び装置	2,129	再評価に係る繰延税金負債	1,563
車両運搬具	10	繰延税金負債	1
工具、器具及び備品	143	退職給付引当金	2,659
土地	7,387	役員退職慰労引当金	15
リース資産	7	資産除去債務	90
建設仮勘定	121	長期預り保証金	35
無 形 固 定 資 産	74	負 債 合 計	22,536
ソフトウェア	21	●純資産の部●	
リース資産	52	株 主 資 本	3,502
施設利用権	0	資本金	4,640
投資その他の資産	3,081	資本剰余金	1,230
投資有価証券	18	資本準備金	1,230
関係会社株式	389	利益剰余金	△2,300
出資金	0	その他利益剰余金	△2,300
関係会社出資金	1,355	繰越利益剰余金	△2,300
関係会社長期貸付金	1,267	自己株式	△67
従業員に対する長期貸付金	28	評 価・換 算 差 額 等	3,668
長期前払費用	6	その他有価証券評価差額金	2
その他	18	土地再評価差額金	3,666
貸倒引当金	△2	純 資 産 合 計	7,170
資 産 合 計	29,707	負 債 及 び 純 資 産 合 計	29,707

個別損益計算書(要旨) 自平成29年4月1日 至平成30年3月31日

(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

項 目	金 額
売 上 高	20,682
売 上 原 価	18,557
売 上 総 利 益	2,124
販売費及び一般管理費	1,779
営 業 利 益	345
営 業 外 収 益	211
営 業 外 費 用	368
経 常 利 益	188
特 別 利 益	0
特 別 損 失	55
税引前当期純利益	133
法人税、住民税及び事業税	21
当 期 純 利 益	112

個別株主資本等変動計算書 自平成29年4月1日 至平成30年3月31日

(単位 百万円 百万円未満は切捨て)

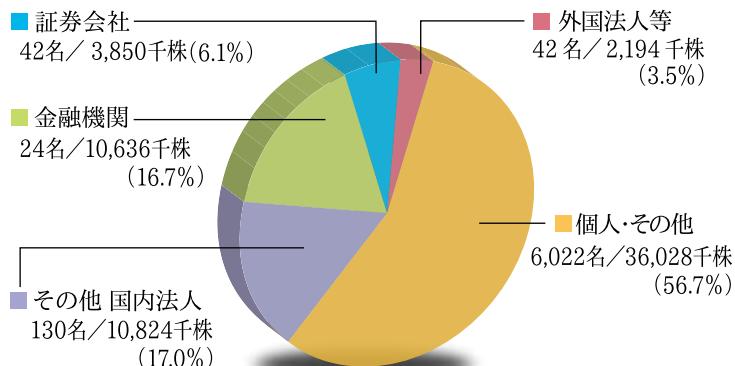
残高及び変動事由	株 主 資 本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
平成29年4月1日残高	4,640	1,230	1,230	△2,412	△2,412	△66	3,391
事業年度中の変動額							
当期純利益				112	112		112
自己株式の取得						△0	△0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)							
事業年度中の変動額合計	-	-	-	112	112	△0	111
平成30年3月31日残高	4,640	1,230	1,230	△2,300	△2,300	△67	3,502

残高及び変動事由	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成29年4月1日残高	2	3,666	3,668	7,059
事業年度中の変動額				
当期純利益				112
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	0		0	0
事業年度中の変動額合計	0	-	0	111
平成30年3月31日残高	2	3,666	3,668	7,170



3. 株主の構成

所有者別株式分布状況 合計:6,260名/63,534千株



1. 株式の総数・資本金

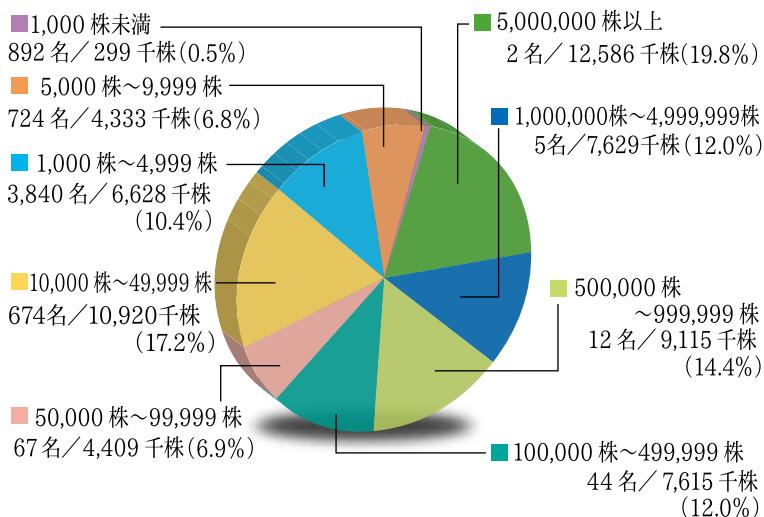
発行可能株式総数	150,000,000株
1単元の株式数	1,000株
発行済株式の総数	63,534,546株 (自己株式 461,185株を含む)
資本金	4,640,850,000円

2. 大株主

ヤマハ発動機株式会社	6,457千株 (10.23%)
エンシュウ取引先持株会	6,129千株 (9.71%)
浜松ホトニクス株式会社	2,000千株 (3.17%)
株式会社みずほ銀行	1,572千株 (2.49%)
みずほ信託銀行株式会社	1,455千株 (2.30%)
株式会社りそな銀行	1,414千株 (2.24%)
前尾和男	1,188千株 (1.88%)
大和証券株式会社	987千株 (1.56%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	973千株 (1.54%)
エンシュウ従業員持株会	967千株 (1.53%)

(注) 比率は発行済株式総数から自己株式を控除して計算しております。

所有株数別分布状況 合計:6,260名/63,534千株



(注) 株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

Company Profile 会社の概況

商号	エンシュウ株式会社（英文 ENSHU Limited）
設立	大正9年2月5日
資本金	46億4,085万円
発行済株式総数	63,534,546株
株主数	6,260名
従業員数	1,011名（連結）
生産品目	工作機械、輸送機器関連部品 レーザー加工機

事業所

本社及び工場 〒432-8522 静岡県浜松市南区高塚町4888 電話 053-447-2111(代)

浜北工場 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788 電話 053-588-0211(代)

営業部・支店

営業部 〒434-0016 静岡県浜松市浜北区根堅788 電話 053-588-4771(代)

東京支店 〒140-0011 東京都品川区東大井4-13-15（スターハイツ）
電話 03-5479-1671(代)

大阪支店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-43（ファサード江坂ビル）
電話 06-6338-2471(代)

サービスステーション / 東北・金沢・広島・九州

海外拠点

ENSHU (USA) CORPORATION	(アメリカ・シカゴ)
ENSHU USA CORPORATION MEXICO R.O.W.I	(メキシコ・ケタラコ)
ENSHU GmbH	(ドイツ・フランクフルト郊外)
ENSHU (Thailand) Limited	(タイ・バンコク)
BANGKOK ENSHU MACHINERY Co.,Ltd.	(タイ・バンコク)
PT.ENSHU INDONESIA	(インドネシア・ジャカルタ)
ENSHU (QINGDAO) LIMITED	(中国・青島)
ENSHU (QINGDAO) MACHINERY CO.,LTD.	(中国・青島)
ENSHU(QINGDAO) Limited Suzhou branch Office	(中国・蘇州)
ENSHU INDIA PVT Ltd.	(インド・グルガオン)
ENSHU VIETNAM Co.,Ltd.	(ベトナム・ハノイ)

取締役体制

(平成30年6月28日現在)

代表取締役社長	山下晴央
代表取締役	勝倉宏和
社外取締役	墨岡良一
取締役 (常勤監査等委員)	中村泰之
社外取締役 (監査等委員)	石塚尚
社外取締役 (監査等委員)	森和彦

執行役員体制

(平成30年4月1日～)

社長執行役員	山下晴央
副社長執行役員 (兼 管理本部長)	勝倉宏和
常務執行役員 (工作機械・レーザー事業部長)	鈴木敦士
上席執行役員 (工作機械・レーザー事業部副事業部長)	富田敏弘
上席執行役員 (工作機械・レーザー事業部副事業部長 技術部長)	鈴木利夫
上席執行役員 (輸送機器事業部長)	松永浩一
執行役員 (新規事業推進室室長)	内山浩一

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日

剰余金の配当の基準日

(期末配当) 3月31日

(中間配当) 9月30日

定時株主総会 毎年6月下旬

なお、定時株主総会において権利を行使することができる株主は、毎年3月31日最終の株主名簿に記載された議決権を有する株主となります。

単元株式数 1,000株

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲1丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社

事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

公告方法 電子公告 (<http://www.enshu.co.jp/koukoku/>)

ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株式の上場 東京証券取引所市場第一部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続取扱店 (住所変更・株主配当金 受取り方法の変更等)	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店	
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。

単元未満株式(1～999株)を 保有されている株主のみなさまへ

単元未満株式は
市場における自由な売買ができません。

単元未満株式(1株から999株)を保有されている株主のみなさまからの、単元未満株式の買取請求をお受けしております。手数料はかかりません。

当社株主名簿管理人・特別口座管理機関
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
にお問合せください。
0120-288-324 (フリーダイヤル)

【ご注意】

証券会社等の一般口座で保有する単元未満株式については、お取引の証券会社等を通じてお手続きをしていただくようになりますので、株主様のお取引の証券会社等にお問合せください。



ホームページのご案内

当社はインターネット上で最新の情報を皆様に提供しております。

ホームページアドレス <https://www.enshu.co.jp>